



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 山元 眞
カトリック福岡司教区
編集人 山元 眞
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

4月の意向

【教皇様の意向のために祈りましょう】
【教皇の意向】 平和と非暴力の文化
【日本の教会】 カトリック学校

2023年 世界召命祈願の日にあたって

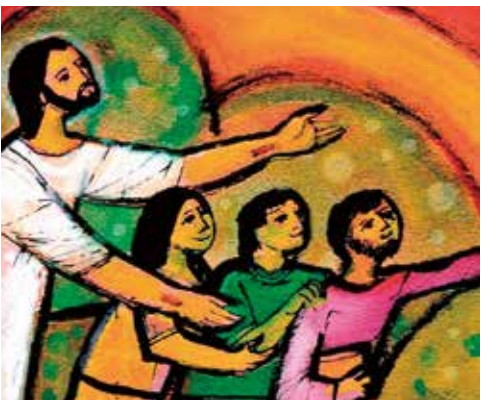
神様は私をどの道に

呼んでおられるのでしょいか

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教

4月30日は、「世界召命祈願の日（復活節第4主日）」です。この日は、教皇聖パウロ六世によって1964年に制定されました。

私たちキリスト者としての基本的な召命は、キリストに従って生きることです。皆が同じ洗礼の恵みに与って、教会において兄弟姉妹です。しかし、この恵みを生きる道は様々です。



（画：MINO CEREZO 神父）

信徒の召命

あるキリスト者は、結婚生活においてともに歩みながら家庭を築いていく中で、神様が人間に与えてくださった、

司祭・修道者の召命

人間にとって、神様とのかわりが一番大切なことであること、また、福音が持つて

「愛する・愛される」道の中に、人間の生き方が全うされることを証します。この道を忠実に歩むように、結婚の秘跡の恵みに与ります。またあるキリスト者は、独身生活を送りながら周りの人々や社会に貢献することによって、神様に与えられた使命を果

いる人と人をつなぐ力を示すために、すべてを神様に捧げて奉獻生活の道を歩むキリスト者もいます。それぞれの修道会や使徒的会の特徴（カリマス）に従って教会と社会に貢献している兄弟姉妹です。そして、キリスト者一人ひとりが与えられた道を喜びのうちに歩み、与えられた使命を果たしていきけるように、兄弟姉妹に奉仕する召命を受けているのは司祭です。イエスを信じる人々は共に集って神を礼拝し、イエスの死と復活の記念であるミサに与ります。司祭は、こういう大切な奉仕を行うよう叙階の秘跡に与っています。また、司祭は秘跡を受け、福音を宣べ伝える使命を与えられています。

神の呼びかけに
耳を傾けて

どの道も、神様の賜物として受け入れそれに伴う使命を

主のご復活を心より
お祝い申し上げます。
「私は復活しあなたと共にいる」

4月13日（木）
司教座聖堂（カテドラル大名町教会）
献堂記念日

教区司教が典礼を司式するときに座る椅子を司教座（カテドラ）と言い、その司教座がおかれた教会堂を司教座聖堂と言います。司教座聖堂は教区の母聖堂と呼ばれ、一小教区の聖堂であることを越えて、司教と共に全教区民が集うところ、その献堂記念日は教区の祝日です。現聖堂は1986年4月13日に献堂されました。福岡教区の神の民の発展のため心を合わせてお祈りください。

今年は4月16日（日）が「カテドラル特別献金日」です。福岡教区の宣教活動の要であるカテドラルの維持管理のための献金をお願いいたします。

熊本地震から7年

2016年4月14日、16日に熊本・大分地方を襲った地震から7年が経ちます。今もお悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られる方のために祈ります。すべての人の苦しみを担われ、復活の希望と光を示してください。私たちがあかしますように。また、多くの支援、つながりを心より感謝いたします。（福岡教区震災被災者支援室）

時の話題

熊本地震から7年経って

津波を伴った複合災害ではなかったの、特に熊本市では7年のうちに震災の爪痕がほぼ見

られなくなった。Build Back Better（よりよい復興）の理念に則り復興が進められ、被災した熊本の町は今や、整った街並みに生まれ変わった。被災を機に多くが再建され、コンパクトで効率的な新感覚のデザイン家屋がとって変わった。積木のような外観と、耐震性のある外壁が小さな窓を包んでいるのが特徴。地震直後、被災者は耐震性と安心して暮らせる家を求めた。仮設団地が閉鎖されようとする時期には、手頃な価格で耐震且つコンパクトなモデルハウスが団地内に展示され、被災者たちの多くは、崩壊した自宅を撤去し、同じ敷地にこれらのコンパクトな住宅を建て

仮設住宅からの解放、耐震による安心感、それは多くの被災者をどれだけホッとさせたことだろう。我が家再建の地が移転は要しなかったことも、東北に比べて復興のス

リードを早めた。先日出張先の大分の街にふとノスタルジアを感じた。個性的な昭和の彩が残っている街の佇まいに時間の奥行きを感じた。熊本では見られなくなった、個人経営の居心地よかった喫茶店やレストランの飾り窓の数々。熊本の西原村も、以前は立派な日本家屋がどこそこに見られたが、今はあまり残っていない。被災後の町には復旧ではなく、復興しかない。新築住宅の並ぶ街並みから、昭和のアナログな味わいが消えたなあ、と7年経って改めて思う。

手取教会

ジョンソン・伸子

ができました。スタッフの皆様、素晴らしい時間をありがとうございました。ごさいます。

札幌教区 武川こむぎ

本的な感染症対策はもちろん、初の試みで宿泊先は各自で用意してもらった（従来は合宿形式）。参加者は二日目にはまた来院する必要があり、受付等の対応も大変であったが、皆がひとつの場所に集い、イエス様とともに過ごすことができた。この経験から今後の青年活動に新しい可能性を見出した。

代表 新田原教会 岩崎聖司

◇以下、参加者からの声◇
待ちに待った福岡でのNW、そして待ちに待った対面でのNW、参加できて本当に良かったです。雪解けが始まったようなワクワクのなか、「つながり」というテーマで分かち合い、参加者それぞれからのNWに辿り着いた経緯などを聞き、改めてNWという場の大切さを実感しました。リスタートに相応しいテーマで、「自分と周りの」今までとこれからをじっくりと考えられる温かい時間を過ごすこと

大名町教会 矢野涼子

私は今回初めてNWに参加させて頂いたのですが、その中で最も印象に残っているのは「テゼの祈り」です。暗い聖堂をろうそくの光が暖かく照らす幻想的な空間の中で捧げた祈りは参加者全員をひとつにしました。改めて祈りの力の偉大さを感じることが出来ました。この2日間出会った全ての人のつながりに感謝します。

手取教会 福田吉希



この地球が誕生して40億年ほど経つといわれている。その地球に人類が誕生して600万年、700万年ほど経つといわれているが、つまりは、人が住めるようになるために、40億年以上の時間がかかったということになる。その地球にわたしたちは今、生きています。春が来た。桜が咲いた。そして、また散っていく。気が遠くなるほどのいのちの営みがつながって、今、わたしたちはここにいます。年々、月々、そして日々、自然の変化を感じる。この地球の環境が今までにないスピードで変化している。残念ながら、この変化は善に向かっているように思えない。悪化していると感じる。気候変動、地球温暖化が叫ばれて久しい。数々の対策を講じているが、その成果はすぐには現れない。なにしろ40億年もかかって、今があるのだから。詩篇作者は歌っている。「神よ、あなたは神にわずかに劣るものとして人を造り／なお、栄光と威光を冠としていただかせ／御手によって造られたものをすべて治めるように／その足もとに置かれました」（詩篇8）。哲学者で数学者であったパスカルは言っている。「考える葦／わたしがわたしの尊厳を求めなければならぬのは、空間からではなく、わたしの考えの規整からである。…空間によっては、宇宙はわたしをつつみ、一つの点のようにのみこむ／考えることによって、わたしが宇宙をつつむ（パンセ348）。」目の前のことを凝視するだけでなく、時には空を、そして夜空をゆつくりと、深呼吸をしながら、じっと見つめるのもいいかもしれない（Y）

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

第三回 司祭評議会

2月7日(火)、大名町教会1階ホールにて今年度三回目の司祭評議会が開かれた。司祭評議会は全司祭を代表する23人の司祭の評議員で構成される教区司祭の諮問機関である。今回は以下の6つの議案が用意され、二時間に渡って意見交換がなされ、教区長の諮問に答えた。

1. 降誕祭のミサ参加の状況や小教区や各地区での諸活動の再開状況
各地区ともウィルス感染予防対策はしているが、典礼への参加制限などの具体的な対策については地区により異なり、制限するところとしないところがあった。また、聖歌を歌うことも地区によって違いがあった。子どもの夏季キャンプなども計画されている。
2. 教区財政の見直しの提案の実行について
各地区に司教、経済問題評議会、教区会計が赴き、教区財政への今後の具体的な協力を呼びかけている(教区報3月号参照)。2024年4月の教区への小教区分担金は現状の15%から30%に増える。小教区の維持費(月定献金やミサ献金を呼びかける必要がある。
3. 祭式献金について
結婚式や葬儀に伴う祭式献金の額については一律には決めない。また、ミサ奉納金については、その趣旨や意図について説明する必要がある。
4. 教区の宣教司牧方針の実行状況
各小教区の状況によって具体的に進めているところもあるが、指針自体がまだよく知られていないところがある。
5. 教区設立100周年に向けての準備

◆ 福岡教区宣教司牧方針を受けて ◆

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます



「歩みはゆっくりでも、続けていきます」 老司教会

老司教会では、宣教司牧方針を読んで既に取り組んでいることは大切に継続していくことを念頭に置き、まだ実施したことは少ないがすぐにでも実践できるものとして二つの事に取り組みました。

一つ目は、宣教司牧方針の「互いに支え合う『交わりの教会』となる」を実行するためのヒント「それぞれの思いを語り合うための分かち合いの場をつくる」です。



和やかな雰囲気でも弾む

小グループに分かれ、人前で話をするのが苦手な人のために洗礼名や出身地など話しやすいことから始めて、次回の分かち合いへの参加につなげることを願ってのスタートでした。回を重ねると、「昔の生活は不便だったが、その分信仰が根付いていた」や、「子どもが部活を始めると親と一緒に動くので教会から足が遠ざかった」などが語られました。分かち合いを持つことで、心に波紋が起きます。気づきや課題も見えてきます。歩みはゆっくりですが、続けていくことが大切だと思っています。

二つ目は、宣教司牧方針の「出向いて行く教会となる」を実行するためのヒント「地域社会とのつながりを大切に」です。

教会と隣接する十数件の家を訪ね、「主の降誕ミサ」の案内をしました。玄関を開けてもらえるのかドキドキでした。ご降誕祭後、再度訪問をして、車や人の出入りが多かったことへのお詫びをしました。お互いの間に柔らかな光に包まれているような、初回には無かった空気の変化を感じ、神様への感謝が溢れました。ご復活の前後にも訪問の予定です。

福岡教区の旗印「キリストの愛に駆り立てられて、人々とともに歩む教会」のもと、宣教司牧方針の思いが、一人ひとりの心に届き、祈りと共に実践に結びついていきますようにと願っています。

老司教会 原 桂子

その時だけの行事として終わらせるのではなく、その後にも目と心を向け、宣教司牧の参考とする内容も加味する。その他として、教区の司祭養成の課題について意見交換がなされた。

祭壇奉仕者選任式
召命の道を歩む決意を新たに

福岡カトリック神学院
神学科3年 吉浦勲



3月5日(日)に熊本の手取教会にてアベイヤ司教様より祭壇奉仕者への選任のお恵みを受けることができました。まずはこの度の選任式に向けて様々な形で準備して

くだった熊本地区の皆様に手取教会の皆様へ、改めて御礼申し上げます。本年にありがとうございました。昨年の朗読奉仕者への選任式や一昨年の認定式はコロナ禍の影響で人数制限などの様々な制限があるなかで行われていましたが、この度の選任式では特段の制限を設けずに行われました。ミサの中では聖歌が歌われ、多くの方々と一緒に祈ることができ自分自身の選任の喜びもさることながら、コロナ禍前の教会の姿を感じることができて、とても嬉しく感じました。

個人的な話になりますが、今年の1月に私の祖母が天に旅立ちました。私が神学院に入学した当初から私の司祭叙階をととても楽しみにしていた祖母ではありましたが2年前から体調を崩し、昨年と一昨年の選任式と認定式には参加することは叶いませんでした。しかし、この度の選任式は写真という形ではありましたが祖母に見守られながらの選任となり、より身の引き締まる思いでした。



アベイヤ司教から選任される吉浦神学生

日本の土となった最初の宣教師

なかなか司祭召命が少ない昨今、私自身も自分の召命に悩むこともありすが、今回与えられた祭壇奉仕という奉仕職を通して、よりイエス様と結ばれ、これからも力強く召命の道を歩んで参りたいと思います。



フランコ神父(中央右)の話に耳を傾ける参加者

1月29日(日)、熊本地区諸宗教対話グループは第96回の対話の相手として熊本市南区の大慈寺を訪ねた。1278年に開かれた曹洞宗のお寺である。現住職は病氣療養中とのことで、同門少壮の池田住職の出迎えを受けた。

広大な境内の一廊にある鐘楼は1287年に造られたものの、菊の御紋付き、先の地震で落下した傷も残っていた。数人が鐘つきを体験させてもらい、優しい響きを確認できた。

福岡教区人事異動

(一)内は現任地、順不同
【2023年4月16日付】

- ◆ 青木悟郎(教区本部事務局 長・会計、小郡・鳥栖教会協力)
- ◆ 小倉教会主任、本部事務局 計兼任(小倉教会在任)
- ◆ 山元眞師(西新教会主任)
- ◆ 糸島教会主任・西新教会兼任(西新教会在任)
- ◆ シン・カンス師(韓国・ソウル教区・糸島教会主任)
- ◆ 直方・田川教会主任(直方教会在任)
- ◆ 山口好信師(鹿児島教区・)

の対話・交流が行われていた出来事として語られた。座禅の心にも話が弾んだ。無念無想は人としてあり得ない。心に浮かぶ様々な思いを追いかけない、心の中のモヤモヤを整える、関わりの中で生きていく、生かされている自分を知り、そこから何かに向かう力を得る。幾通りもの説明の中で、表現は違いますが、のまの自分を受け容れ、神との関わりを確認する私たちキリスト者の姿勢と通じ合うことを確認し合った対話であった。

大広間での交流に移り、フランコ神父から、500年前この寺で学んだイエズス会の宣教師ドゥアルテ・ダ・シルバが紹介された。彼は、豊後の府内で活動した後、川尻に派遣されて習字を学ぶために大慈寺を訪れ、数か月間滞在した。日本語の文法書をまとめ、ポルトガル語―日本語の辞書作りに尽力したと言われている。肺炎を患い、高瀬(現在玉名市)に移り、28歳で死亡した。ドゥアルテ神父の墓は玉名市の神社に在り、代々受け継がれた遺髪が玉名市の博物館に保存されているという。500年前すでに宗教間

カルメル修道会チャブレン・糸島教会協力(カルメル会在任)

◆ ジョン・ウォン・チョル師(韓国・テグ教区・小倉教会助任)

◆ カテドラル大名町教会助任

◆ ルーカス・レック師(アメリカ・ブルックリン教区・カテドラル大名町教会助任)

◆ ブリン師(聖ドミニコ会小郡・鳥栖教会協力(箱崎教会在任))

御礼

宮原 良治 司教様
(佐賀教会協力)

田中 重治 神父様
(大牟田教会主任)

右の方々から故人への香典のお礼として、教区にご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

計報

カバラグ・アデライダ・バルセロン 修道女
(カノッサ修道女会大牟田修道院)

2023年3月15日 帰天。享年75。修道生活54年でした。

サンパウロ 福岡宣教センター

営業時間:
10:00~18:00(日曜日~16:00)
定休日: 火曜日、祝祭日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUEN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会⑫

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれの力とスマで働いておられます。
昨春より紹介している、その修道会や宣教会。第 12 回は、幼きイエス会です。

幼きイエス会

幼きイエス会は、17 世紀にミニム会修道士ニコラ・バレ神父（1621～1686）によってフランスで創立されました。貧富の差の激しかった当時のフランスで、貧しい家庭の子どもたちの教育は、社会の誰からも顧みられませんでした。バレ神父は、彼らが神の子の尊厳にふさわしく育つのを助けるため、無料の小さな学校を始めました。その学校の女教師たちのグループが、幼きイエス会の起源です。会員の生活を保障するものは、神の摂理だけでした。

マザー・マチルド



マザー・マチルドは、日本での宣教は、「キリシタン禁制の解かれる希望が見えてきた。今すぐ宣教会たちに来てほしい」という日本在住のバリ外国宣教会プチジャン司教からの要請に応じて、1872 年、当時マレーシアで宣教していた本会のフランス人修道女マザー・マチルドと 4 人の会員が、ヨーロッパ人宣教会として初めて日本の土を踏み、多くの困難を乗り越え、横浜で特に貧しい子どもたちと共に教育する仕事「人慈堂」(*)を始めました。これが日本での宣教の始まりです。その後、神の摂理によって幼きイエス会の教育事業は、日本の教会と社会に貢献するように導かれていきました。

1932 年には当時の福岡教区長アルベルト・ブルトン司教の要請を受け、翌年に福岡で福岡雙葉学園を創立しました。その後、戦争、福岡大空襲、戦後復興と、神への熱誠、自由さ、大胆さ、単純さ、神への摂理への委託をもって、神への愛、人への愛に向かって生きてまいりました。来日 150 周年にあたる今年、最後の息を神様にお返しする日まで、私達は、ニコラ・バレ神父の精神を生きる奉獻生活者の恵みを生きていくことを願います。

現在、平均年齢 85 歳の福岡修道院です。日本に最初に上陸した修道女会ですから高齢修道会であるのも自然ですね。福岡教区に派遣されている私たちは、宣教司牧方針「キリストの愛に駆り立てられて、人々と共に歩む教会」に向かって、福岡教区の皆さまと共に歩んでまいります。

幼きイエス会 Sr 金 公女
※人慈堂は幼きイエス会が始めた貧困児童養育事業で、日本で最初の孤児院

日本最初の邦人修道女たち（人慈堂にて）



ペシャワール会では、1984 年にパキスタンのペシャワールで活動を始めてから 2000 年まで医療事業に注力していたが、戦乱のため医療支援を求めて隣国のアフガニスタンからの難民の数が増加していった。外国軍（旧ソ連軍）がアフガニスタンから撤退すると、難民たちは母国へ帰還して行ったが、アフガニスタンでは以前から徐々に悪化していた干ばつが 2000 年頃からさらに深刻

化して新たな問題が生じた。「ハンセン病やマラリアなどの感染者は以前から多かったが、栄養失調の症状を持つ人が増え始めた」と藤田さんが振り返る。原因を探れば「水」が大きく関与していることに中村医師は気づいたという。水が足りなければ健康に直接影響するだけではなく、農業が事実上できないため食料不足となり、さまざまな健康被害につながるという悪循環に陥ってしまう。これを断ち

切る秘訣はやはり「水」だ。そこで、医療支援を続けながら、清潔な飲料水を得るために井戸掘削や農地を回復させる水利事業に取り掛かることにした。土木工学の知識がそもそもなかった中村医師は、福岡県内を流れる川に江戸時代に築造された日本特有の堰や水路建設の技術を参考に、現地の状況に合わせるように工夫して、2003 年 3 月から本格的に建設を始めた。2020 年現在、9ヶ所

の取水堰が完成し、約 65 万人の農民の支えになっている。しかし、技術的な障害以外に政治的な困難もあった。アフガニスタンの政治情勢の変化による治安の悪化で、2009 年に中村医師とともに活動をしていった日本人たちは安全のために帰国せざるを得なかった。その中の一人だった藤田さんは日本から支援を続けたが、2021 年 8 月にタリバン政権が復活すると、西側諸国の経済制裁のため日本から銀行送金ができなくなり、「現地のスタッフは約 3 ヶ月間無給で頑張った」と話した。現在は安定した状態が戻り、藤田さんは再び現地を歩き来ることができている。ここまでさまざまな困難に直面し、中村医師の命が奪われてもなお、藤田さんらはなぜ現地活動を続けているのか。「（誰でも）そうするんじゃないですか？目の前に苦しんでいる人がいたら、放っておけないですよ」と話す。現在、福岡市のペシャワール

NGO（非政府組織）「ペシャワール会」（会長・村上優、福岡市）や PMS（平和医療団・日本）を立ち上げ、パキスタンやアフガニスタンで人道支援活動を繰り広げていた医師の中村哲さん（中学生の時バプテスマ教会で受洗）が、2019 年 12 月 4 日に現地で武装した何者かに銃撃され殺害されて 3 年余り経った今、中村医師と一緒に活動してきた PMS 支援室室長の藤田千代子さんがさまざまな体験談を話した。後編では、現地の水路事業や、藤田さんの奉仕活動に関する考え方を紹介する。

ペシャワール会の今―後編
「苦しんでいる人がいたら、放っておけない」
―中村哲先生の意志を継いで―



水と緑が戻った大地に子どもたちと（藤田さん左）

切る秘訣はやはり「水」だ。そこで、医療支援を続けながら、清潔な飲料水を得るために井戸掘削や農地を回復させる水利事業に取り掛かることにした。土木工学の知識がそもそもなかった中村医師は、福岡県内を流れる川に江戸時代に築造された日本特有の堰や水路建設の技術を参考に、現地の状況に合わせるように工夫して、2003 年 3 月から本格的に建設を始めた。2020 年現在、9ヶ所の取水堰が完成し、約 65 万人の農民の支えになっている。しかし、技術的な障害以外に政治的な困難もあった。アフガニスタンの政治情勢の変化による治安の悪化で、2009 年に中村医師とともに活動をしていった日本人たちは安全のために帰国せざるを得なかった。その中の一人だった藤田さんは日本から支援を続けたが、2021 年 8 月にタリバン政権が復活すると、西側諸国の経済制裁のため日本から銀行送金ができなくなり、「現地のスタッフは約 3 ヶ月間無給で頑張った」と話した。現在は安定した状態が戻り、藤田さんは再び現地を歩き来ることができている。ここまでさまざまな困難に直面し、中村医師の命が奪われてもなお、藤田さんらはなぜ現地活動を続けているのか。「（誰でも）そうするんじゃないですか？目の前に苦しんでいる人がいたら、放っておけないですよ」と話す。現在、福岡市のペシャワール

ル会事務所には、藤田さんと共に複数の人たちが働いている。皆、中村医師の意志を継いでいく人たちである。※逝去された中村哲さんと、

3 年ぶりに開催された「スープの会」
路上生活者支援の再出発

路上生活者を支援する越冬炊き出し活動の「スープの会」（カトリック大名町教会主催、福岡におにぎりの会など協働）が、新型コロナウイルス禍のため 2020 年から中止になつて以来 3 年ぶりに開催された。約 80 人のボランティアたちが、拠点の福岡市のカトリック大名町教会を出発し、豚汁などを同市内の路上生活者や生活困窮者らに提供した。福岡地区内の約 10 教会からの信者をはじめ、プロテスタント信者や一般人、上智福岡中学高等学校の高校一年生らのボランティアも参加した。

事前に調理した豚汁のほか、今回集まった食品の中には、手作りおにぎりやゆで卵、パン類、バナナなどもあった。その他、風邪薬や絆創膏、マ

現地ボランティアの方々を、永遠の安息を祈りご紹介いたします。下記 QR コードからご視聴ください。



スナックなども準備した。

「スープの会」の深堀伸一会長は「上から『あげる』のではなく、困っている人の目線になつて支援する気持ちが大切」と挨拶し、ボランティアたちがグループに分かれて「天神」や「中央公園」など 10 本のコースに出発した。

天神コースでは、温かい手作りの料理を食べた路上生活者たちが笑顔で感謝の気持ちを表した。ボランティアたちは、食品などを手渡した後、路上生活者たちと会話をしながら様子を伺った。

「スープの会」は 30 年以上前に始まり、毎年 2 月から 3 月の 2 ヶ月間で毎週金曜日に行われている。協働団体の「おにぎりの会」もほぼ年中、美野島司牧センターで定期的に

聖マリアの汚れなき御心のフランシスコ姉妹会終生誓願式
山鹿教会から姉妹の祝福に駆けつける



教会家族に囲まれ喜びの Sr. 仲谷（中央）

て建てられた聖クララ修道院は丘の上に堂々と建っており、沖縄教区長ウエイン・パレント司教の司式により、Sr. ベルナデッタ仲谷洋子とベトナム人シスター 3 人の誓願式が執り行われた。

隣接の修道院の回廊には美しい花々が咲き乱れ、暖かい沖縄の気候とシスターたちの笑顔が私たちを喜びに包んでくれた。その夜、黙想会でも使用される僧房の個室に宿泊し、翌朝はシスターの歌声で目が覚め、ミサに与かり、修道院の生活を少しだけ体験することができた。ここでもシスターの高齢化があり、引き続きシスターの召命を祈りたいと思う。

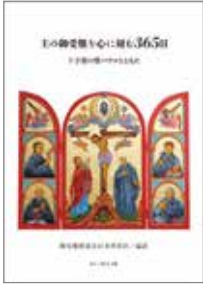
報告 山鹿教会 平井栄美



困っている人の目線で温かい豚汁を提供



☆主の御受難を心に刻む 365 日 十字架の聖パウロとともに
御受難修道会日本準管区（編訳）



21 世紀の今、さまざまな困難に直面する私たちは、いまだかつてない不確実さのなかで、確かなものを探しながら生きています。本書で紹介される一日一句のことは、そして「十字架の聖パウロの霊性のキーポイント」は、今という時のなかに、私たちが救いたい望まれる神の切実さを見いだすよう招きます。今、この時にこそ、「キリストの十字架を忘れないように」。

税込価格 1330 円
ドン・ボスコ社発行

広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話 : 092-522-4059
メール : cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で 1 回（ひと月）5,000 円の献金（目安）をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

広報室からのお願い
皆様のベストショットや、イラストをお寄せください。撮影された写真や書き溜めたイラスト（カトリック関係のもの以外でも）など大歓迎！教区ホームページや、教区報の挿絵、教区内（小教区、修道会、関係各所含む）配布の刊行物などに使用させていただきます。※作品は誰でも使用出来る「著作権フリー」の素材としてご提供をお願いいたします。
（問合せ）カトリック福岡司教区 広報部
Email : cdf-kouhou@nifty.com ☎ 092-522-4059

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
ご一緒に働いてみませんか
URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

FPO 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

年間目標 出向いて行く教会となる

聖香油ミサ ライブ配信のお知らせ

日時：4月5日（受難の水曜日）15時
場所：カテドラル大名町教会
司式者：ヨゼフ・アバイヤ司教（福岡教区長）
◆司祭職制定の記念でもあるミサです。福岡教区の司祭団のために共に祈りましょう。
＊動画は下記方法のいずれかよりご視聴ください。
・福岡教区ホームページ <http://fukuoka.catholic.jp> か右記 QR コードから。
・YouTube → カトリック福岡教区 → 「聖香油ミサ」で検索



福岡地区カトリック女性の会 総会

日時：4月22日（土）13時～16時
（受付12時30分～）
場所：カテドラル大名町教会
大聖堂
プログラム：総会 13:00～
《休憩》
ミサ 15:00～
司 式 ヨゼフ・アバイヤ司教（福岡教区長）
共同司式 レナト・フィリピーニ神父
（福岡地区カトリック女性の会担当司祭）

「震災のための祈りのリレー」からの
お知らせ

毎月11日に行っている「震災のための祈りのリレー」へのご参加ありがとうございます。私事です
が4月10日に大阪修道院に異動になり、福岡を中心としたこの祈りの集いは前回は最後となりました。大阪に移動してもこの祈りは続け、すでに次回145か月目の場所（聖パウロ教会大阪修道院）も決まりました。お近くの方どうぞお越しくださいませ。
引き続き共同祈願はお寄せください。当日の祈りに使わせて頂きます。感謝のうちに。
Br 阿部光一（聖パウロ修道会）



福岡教区広報室アドレス
<http://fukuoka.catholic.jp>
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

4月のこよみ

教区アプリのご利用方法

福岡教区広報委員会・ホームページ部では、教区公式アプリの開発に着手し、昨年（2022年）暮れに完成いたしました。

このアプリからは、教区からの情報をいち早くお届けすることができます。スマートフォンをお持ちの方は、ぜひ下記 QR コードからインストールください。



← iOS iPhone
をお使いの方



← アンドロイド
をお使いの方

インストールが完了すると、スマホの画面に下記左の画像（教区広報のマーク）が現れます。そして、新着情報が届くと、右肩に情報数が付きます。



アプリの
マーク



赤い丸の中に
新着情報数が
付きます

インストール後のご使用方法につきましては、右記 QR コードからご確認ください。



このアプリが、情報収集だけでなく、お互いのコミュニケーション、そして教区とのきずなを深める一助となれば幸いです。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：聖性への招き
日 時：4月13日（木）10時～15時
内 容：マгдаラの聖マリア
指 導 者：Sr. マリア・デ・ジョルジ（マリア布教修道女会）
次 回：5月11日（木）
内 容：聖シャルル・ド・フーコー
指 導 者：C. クラウドディオ神父（聖ザベリオ宣教会）
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail: shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします（要予約）

- 1日（土）山鹿教会司牧訪問
†J.クレハン（2008年 荒尾教会）
2日（日）受難の主日（枝の主日） 菊池教会司牧訪問
3日（月）†A.アレグリーニ（2006年 ロザリオの園）
4日（火）†ペトロ黒川博（2002年 大牟田教会）
†L.ソレッタ（2016年）
†V.ヤンキャンプ（2019年）
5日（水）聖香油ミサ 大名町教会ミサ司式
6日（木）聖木曜日（主の晩さんの夕べのミサ）
大名町教会ミサ司式
†アウグスチノ片岡哲夫（2016年）
7日（金）聖金曜日（主の受難の祭儀）（大斎・小斎）
大名町教会典礼司式
聖地のための献金
8日（土）聖土曜日 復活徹夜祭 大名町教会ミサ司式
9日（日）復活の主日 大名町教会ミサ司式
11日（火）†ヨハネ床島藤吾修道士（2014年 司教館）
13日（木）福岡教区司教座聖堂献堂記念日
常任司教委員会（東京）
†C.カヴァーニャ（2014年）
15日（土）真命山司牧訪問
†G.ベンツォ（2014年）
16日（日）復活節第2主日（神のいつくしみの主日）
カテドラル特別献金 玉名教会司牧訪問
17日（月）淳心会研修会（姫路）
18日（火）教区顧問会
22日（土）福岡地区女性の会総会 感謝ミサ司式
23日（日）復活節第2主日（神のいつくしみの主日）
茶山教会堅信式 ウルスラ会誓願記念ミサ
25日（火）第1回司祭評議会
†J.L.カズレ（2008年 サンスルピス）
29日（土）島崎教会司牧訪問（～30日）
30日（日）復活節第3主日 世界召命祈願の日
【5月】
6日（土）水俣教会司牧訪問
†F.デイキン（2005年）
7日（日）八代教会司牧訪問
†トマス須賀澤公男（2016年）
†T.キルケニー（2018年）

■ゴシックは司教日程

聖週間 4月2日（日）～8日（土）

Hương đến một cộng đồng cùng sánh bước
ともに歩む教会をめざして
Nguyễn Quý (Viet Nam)

Kikuchi là một giáo xứ nhỏ thuộc tỉnh Kumamoto- giáo phận fukuoka - Nhật Bản. Tại đây, hiện có rất nhiều bạn trẻ công giáo Việt Nam đang sinh sống, học tập, và làm việc. Vào khoảng giữa năm 2017 thì bắt đầu có một số bạn trẻ công giáo Việt Nam biết đến nhà thờ Kikuchi và tham dự thánh lễ bằng tiếng Nhật mặc dù họ không hiểu và không đọc được.. nhưng với niềm tin vào Thiên Chúa các bạn trẻ vẫn đến tham dự thánh lễ hằng tuần.

Từ khoảng năm 2020 thì số lượng người công giáo Việt Nam biết và tham dự thánh lễ ngày càng tăng lên. Ngoài việc tham dự thánh lễ thì các bạn trẻ của chúng ta cũng tham gia vào các hoạt động phụng vụ như đọc hay đọc kinh lạy cha bằng tiếng Việt. Cách đây hơn 1 năm với sự quan tâm và giúp đỡ của cha quản xứ, cũng như sự hi sinh phục vụ thầm lặng không quản ngại khó khăn của cha Phạm Hoàng Trinh cộng đoàn chúng con có thánh lễ tiếng Việt đầu tiên. Chúng con hy vọng trong tương lai gần thì cộng đoàn chúng con sẽ có thêm nhiều thánh lễ tiếng Việt hơn nữa.

Giáo xứ Kikuchi tuy nhỏ nhưng ở đây chúng con luôn được sự quan tâm ưu ái từ cha quản xứ và cộng đoàn người Nhật. Các chương trình hoạt động trong giáo xứ chúng con cũng cố gắng tham gia, cũng như chúng con cũng được hỗ trợ và giúp đỡ để tổ chức các hoạt động như: tổ chức tết Việt, học hỏi tiếng Nhật... Cộng đoàn chúng con kính xin quý Đức Cha, quý Cha, quý tu sĩ nam nữ và toàn thể quý Ông bà anh Chị em tiếp tục quan tâm, nâng đỡ và đồng hành cùng chúng con.



1月22日「ベトナム旧正月を祝う集い」を日本の方と一緒に



振舞われた料理の数々

ベトナム料理の作り方も教わって

勉強会など、教会の活動に参加する機会を増やそうとしています。これからも皆さまのご支援と交流を私たちのコミュニティにお願いしたいと思います。

福岡

内容詳細は問合せ先にお尋ねください。
感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。

- 福岡地区召命を共に祈る会（日時）4月18日（火）13時30分
分／ロザリオ・分かち合い（場所）大名町教会小聖堂・1F
ロビー（問合せ先）☎092・921・4532 山口
- 福岡チエナクルム（日時）4月19日（水）10時（場所）大楠教会（問合せ先）☎090・5021・5907 菊池
- 師イエス祈り会（日時）4月21日（金）10時ミサ後（場所）高宮教会・小聖堂（問合せ先）☎090・7468・3631 西田
- 在世フランススコ会（日時）4月22日（土）9時（場所）高宮教会（問合せ先）☎080・5266・9048 秦
- 福岡ホスピスの会総会（場所）22日（土）14時～16時半（場所）サンパウロ福岡宣教セン

熊本

- 熊本地区召命を共に祈る会（日時）4月17日（月）9時50分
- タ13階＊参加は会員のみの（問合せ先）☎090・1162・6395 柴田
- 聖霊による刷新・福岡祈りの集い（日時）毎週月曜日11時～12時30分（場所）大名町教会1階講堂（問合せ先）092・521・2503 蓮尾
- 美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日10時
ホームレス支援炊出し調理 毎週金曜日14時
夜回り 20時から
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時（問合せ先）☎092・431・1419 コース・マルセル神父
- 聖体といやしの家
ご聖体のある家でミサと礼拝のある今を過ごしてみませんか？
必要があればシスターや社会福祉士が同伴できます。（問合せ先）☎080・4735・6971 礼拝会

編集後記

分／ロザリオ・召命祈願ミサ（場所）手取教会（問合せ先）☎0969・79・0015 大江・崎津・本渡教会主任、浦川務神父

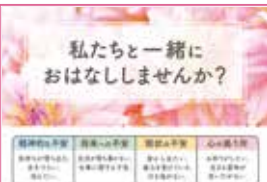
広報部は昨春から新体制となり、広報委員会が「教区報部」「ホームページ」と、2部門で立ち上がりました。

教区報部は文字通りより良い教区報をお届けするため、編集会議での意見交換から幅広い取材に繋がります。外国の方たちのコラム欄も始まりました。ホームページではページ内容の充実やミサの配信に加え、昨年末には「教区公式アプリ」もお届けできました。現在、トップページがさらに見易くなるよう準備中です。

それでも数人の広報委員では限界もあり、偏ることもあります。ぜひ「皆様の声」をお聞かせください。草花が芽吹き、眠っていた生き物も動き出す心躍る春の景色の如く、鮮やかに彩られた情報をお届けできますように。（W）

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金（祝日を除く）
10:00～12:00 13:00～16:00



安心してお話が出来る人をお探しの方へ。

メール：hanahanahimawari2020@gmail.com
☎：080-4735-6971（9:00～21:00）
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記 QRコード
—ぶるじえくとHana—
ぶるじえくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍しています。礼拝会を中心としたグループです。



10代～40代のみなさま
こんな悩みをお持ちでないですか？
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もいたします。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。